

# 一般質問

## 幼稚園特集

**Q** 賀茂地区における  
幼稚園創設園につ

いてどのような手順で賀茂地区に決定したのか。また決定に際して地域住民の理解を得るために説明会など広聴の場は持たれたのか。

**A** 幼稚園創設の地域設定については審議会の答申を踏まえ、プロジェクト委員会で、現在の施設を共用し地元の理解を得ながら早



期にたち上げることを条件に、今後の児童数の推移、民間との競合などの条件面を検討した中で4候補が上がり、そして市内の幼稚園推進検討委員会で協議し、最終的に賀茂校区に決定した。

賀茂地区においてこれまでに3回地元説明会を実施している。住民の意識調査は実施していないが、昨年にタウンミーティングを開催し幼稚園について周知も図っている。

幼稚園の開設には何よりも地元保護者の理解が必要と考えている。

**Q** 保護者は幼稚園創設園の環境整備の充実を求めているが、どのように対処するのか。

**A** 幼稚園は、保育所、幼稚園のよい面を取り入れることで、保護者の二

ーズに合った幼児教育の充実を目指すもので、現保育所の施設を保育所児と幼稚園児が共用するため、新設ではないだけにこれまでのゆとり感からすれば制約があるが、できるかぎり少子化時代に合ったサービス機能を増やし充実させていきたい。

また、預かり保育を実施する予定はないが、週に3日程度、2時以降の預かりを要望される保護者には緊急一時保育で対応したい。

9月4日に保護者らによる幼稚園を考える会の代表者から、2,299名の署名による請願書が提出された。請願の主な内容は環境整備と教育内容の充実である。財政面の問題もあるが、できる限り保護者のニーズに合った幼稚園の環境整備に努めていきたい。

**Q** 私立を含めた市内の保育所及び幼稚園の将来像と年次計画は。

**A** 幼稚園の指針全体像については、少子化

や行財政改革の中で幼保一元化が言われ、現行法制度の中では幼稚園と保育所の施設の共用に関する指針にのっとり、現施設を最大限生かす形での運営を当面考えていきたい。プロジェクト委員会では候補に上がっていた日吉、泉、九会の3カ所では、国の一元化の方向も見定め、地域の就学前児童数の動向や財政事情なども考慮しながら統廃合も視野に入れ推進していきたい。

統廃合も含めての年次計画は、答申の基本方針では、各中学校区に一つということ、短時間部（幼稚園）、長時間部（保育所）各100人程度が理想となる。民間と競合する校区は、相互の理解も必要であるため現時点での具体化は難しいと考えている。国の動向、市の財政事情を踏まえ、民間と競合のない地域を優先し、地域の理解が得られるところから計画していきたい。

**Q** 将来的には保育所と幼稚園の統廃合についても民間活力を導入していく方針か。

**A** 保育所、幼稚園の民営化は、今は時期的

には無理と考えている。行政改革推進などの観点を踏まえ、教育、保育の充実、安定が図れるようであれば、今後十分に検討、研究していきたい。公立の幼稚園と保育所の統廃合と民営化は昨今よく言われるが、加西市の場合、公立の保育所、幼稚園ともに定員割れの状態である。このような要因に加え財政面や効率面から考慮すれば将来的に統廃合は避けて通れないと考えている。民間公立の存在意義は大きく、お互いが切磋琢磨してこそ、幼児期養育の充実が図れると考えており、地域性も十分勘案して、公立、私立、あるいは公設民営などの分類を考えていきたい。

